

農務省農務局長 長

は藍に一枚の紺はなくて、穴れは
 を穿く味づけるに、一瞬一の薄くは
 しい顔に輝ける顔目、顔す。若くは
 くは對面の舌でさす。

世には膝へ膝へ膝へられたり
 膝の端に、對面する膝の端に
 膝の端に、對面する膝の端に

リトスキの状況(下)

の胸へを取つて居り、又、つぎ、鮮人の醫事衛生状態

は、根本的理論を要する

ない。郡内の小學校は皆、
教科書も、參考教員も

生徒数は二、二五九人で

或は叶海亭を試つて日本の

前農商務次官
鳴見左吉作

[illegible]

人參ニ優ル強壯劑
 インヤワクマク
 淫羊藿 エキス
 通稱三枝九葉草エキス
 三枝九葉草
 五効力の對症
 効力に……
 神經衰弱症 貧血症 腎臟病 肝臟病 胃腸病
 膽病 生體衰弱 リウマチス、ヒポコングアリ
 老衰 精力減退等にも用ひ無難なる藥也
 定價 四十元 五十元 三十元
 一手發賣元 京城日報社代理
 特約店 京城 山岸天祐
 傳染病室完成
 立府 仁川 病院
 電話 專科用一六番
 明治三〇年

結核專門
古賀病院
九州線 古賀 驛ヨリ西へ
徒歩五分 電話七五五番
最新刊

外 國 日 本 新 刊 日 本 日 本 日 本

發賣元
鈴木増田商店
上川本町三丁目
電話 二五九番

本日

白鶴

本町城 大阪屋敷書店
電話 本町二〇八番

有島武忠著
ハイイロトマンに就て 九四
酒井勝義著
羊頭 獅肉の米 國宗 二六
佐藤定吉著
國宗 宗教への思慕 一五
酒井勝義著
國宗 宗教への思慕 一五
無線用真空管の原理と應用
國宗 宗教への思慕 一五

元
堂山

毒の花

入江新八作

近
藤
紫
雲

それから何事も流和の羽を指し
てゐたが、實は何事よりも一徹
堅忍し、頻々やつて来たのだ。たゞ
流和が、東洋近郷の事、遠郷な
かげの事も知らないといふのだつた
と、流和の直經の、一歩ふたつとに拘
らず、廻らぬ流和の一徹ふたつとに
は、叩き求るのいろ／＼な風説が
かきまゝ振られて、それが僅
かに露れぬに過ぎた。

流和とみな子が流和の手に通り
着いた時は、お母が泣いた。何
處か、ある一處のところに止まる
ことが出来なかつた。母に行つて
も、身が震へて、流和へ先へ
と追ひやられた。流和、深く突
また蹴べられて流和へへゐると、
歩も歩くことが出来なかつた。流

「假か負ふて上げませう」
さう流和がやつて背をかけた。
微も腰が緩んじやつてゐる。

「好いのか、あなた、肝のよ
みな子はうら／＼ひく／＼とあつた
みな子は、何んなことか、どうも
お母の背に、おまゐることに出来
なかつた。此かたは血が流れて、
とめられて、木乃のやに突寄
つてゐなければ、みな子は、とて
も負さざる筈になかつた。

「あなたを私負ふて上げるの
なら好いけれど、私が負さざるな
ら、好い」と、私、へたはこしま
う、若し、私をみな子は、めづら
しく、私、へたはこしまう、
と、うゝ、私、へたはこしま
う、と、うゝ、あなたを負ふて上げ
る、振りにゐたのか。

「そんなことは、どうでも好いで
す。母に、敵式の歌へく、歌で



聞はみな手巾を羽振つてやつてやつと町はばれまて来たのだが、
 此等は今迄の味方より、暫くが敵
 になった。
 敵は、持参者と云ふやなこ
 とはもう此處では云はないで、直
 に原野に飛かへ寄つて来たのは、
 男どもが秘蔵の金銀財宝を盗
 すといふので、竹槍や、披し、
 ドストルを振つて町の町は一
 歩も寄れなかつた。彼等は、實に
 困つてしまつた。彼へもさうか
 矢も盡めなかつた。へんかとい
 がつて、町頭へ降参したつて、町
 の人々と行動共にするといふこ
 とが出来なかつた。
 此の敵は、そんなに町頭の
 民衆に對して惡れてゐる處ではな
 かつた。みな女と此敵と一様であ
 つた。子姪に對しては、親戚に
 對しては、皆慈しんでゐた。此
 亦や國王に擧げられてしまつて
 も、何うやな氣をしてゐた。
 ところがとなれ、死ねば、繼に死
 の憂ひだ。
 そんな氣持が親人の心を通つて
 した。それで、親人はまたこのこ
 の町を助を出す。もうみなは歩
 り、さう云つて、歩き出し、身だが
 とも、歩んだ。
 其處へ一町の民に、御座つて
 一、二人の女と、二人の男が、あ
 つて、馬を御してんだ。彼等、連
 に、敵に對してゐのを見て、
 「お前さん、誰へ行かへんか
 だ。」
 「私達は東京に連れて来んで
 すが、どうするとも出来ないで
 困つてゐるんで。」
 野郎は答へた。
 「やうか、たゞや、親の腹だ。親
 等も東京から連れて来へんか、
 此處の方が、悪くないか、ま、
 東京へ引連れてんだ。此方から
 他は、東京といふんだ、大抵、
 だ、殺された。昨夜も、人々一
 だ、殺された。お前さん、
 兩、かけな。此處への上で上げ
 ちや、東京へつた方がよさう
 ないや、有難う。おや、どうかお

[illegible][illegible]

妻から贈子は
 三四年前のものより、梅の香
 り、牡丹とんとみかけない蘭
 のどす黒い蘭の服と
 破れた靴
 無様好な古い蛇目金の傘に、さも
 きつさうに寄りかか
 り生活苦の疲勞のどよりし締
 めが離つた服になつてゐる
 色褪せたその風の服のアルミ
 の縫綴には
 梅干の櫛で、うがつてゐるやう
 な、乾いた彫刻の痕に
 私は赤茶々な正統の姿を見出

正直


尾崎 英子
 一 電車の中で

月經不順
を快く調へ

月經困難
を快く治す

毎月の水の日まらず、其
他月經とまり交は不順となり
綻り子宮の通氣滞上
鬱滯なり、頭痛、便秘、食物
不適、腰腹下血に照應或は
疼痛ある諸症に特効あり

◎毎月丸は此の御理をよく
し、瘀血を下し、子宮病
を快治す。



月經
毎月丸

一服 試飲者十二回分七十粒
二服 貧血者四十回分一両半粒

大塚 幸平


發賣元 丹平商會

ソツト アナタに

御婦人の病氣は月經不順又は滯りから來るものが多い、其原因を除くには毎月丸に限りませう。

月經不通

を快く通じ



マンドリン
ハモニカ
尺八、琴三益

何人もスグ
達する所
音の響け
無窮の音
(音の注意)

大日本家庭音楽會
所 日本中野三丁目
電話 三三三三、三三三二、三三三三

執行所 大日本家庭音楽會
所 日本中野三丁目
電話 三三三三、三三三二、三三三三

ロシアを解せんとせら
るゝ御方は先づ當地へ
御來遊願上候

大日本家庭音楽會
所 日本中野三丁目
電話 三三三三、三三三二、三三三三

大日本家庭音楽會
所 日本中野三丁目
電話 三三三三、三三三二、三三三三

ロシアを解せんとせら
るゝ御方は先づ當地へ
御來遊願上候

大日本家庭音楽會
所 日本中野三丁目
電話 三三三三、三三三二、三三三三

大日本家庭音楽會
所 日本中野三丁目
電話 三三三三、三三三二、三三三三

穀化粧品研究所創製

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



は

▲軽く腐
附けるだけの事
云ふほどで済み
種の新しいが深
顔水の化粧作用
研究所ででき、

人氣 新式

く
しよ

の地を摩擦しながら
ですから、普通の化粧時
ひ、すつきりと解かに美
です。この新式の白粉は極
大そうな人気です。

の 人 氣
の おし
で 數分
な お化

美

面の何分の一も
 れまででない
 しいのが白色美
 桃谷美雪博士の

本の
 しろい
 方で
 化粧！

人
顔 か
ん



水